

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	160200	TEL	2942-2972
事業コード	第3学校給食センター運営事業	担当部課	第3学校給食センター		
820207		グループ	第3学校給食センター		
開始年度 昭和 50 年度 →		終了年度	年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針				学校教育法 学校給食法
	関連・類似事業				食育基本法
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 学校教育	基本方針	健やかな体の育成
事業開始の背景	昭和29年に学校給食法が制定され、義務教育の設置者に学校給食の実施に努めることが求められるようになった。第3学校給食センターは、所沢市下富866-1に設置され、昭和50年7月7日から給食が開始された。現在の調理能力は1日9,000食。				

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	児童生徒に安全で衛生的な給食を提供する。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	9,110 ^人
	市内児童生徒			平成 27 年度	7,686 ^人
事業の具体的な内容及び実施方法					
①栄養士が作成した献立を献立作成委員会で検討し完成させる。 ②食材料は見本審査会で品質、安全性を確認後、市の指定業者から見積合せにより購入する。 ③納入された食材料は、品質等の審査を受けてから調理場に運び込まれる。 ④調理は調理指示書に従い、衛生を考慮しながら行う。 ⑤出来上がった給食を最終チェックし、保存食を採取してから各学校に配送車で運搬する。 ⑥午後、学校から戻ってきた食器の洗浄、消毒、保管等の作業を行う。					

④経費	<会計種別>	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		8,686	7,538	8,533
	決算(見込み含む)		8,560	8,173	
	(非常勤特別職員) (臨時の任用職員)	(人) (33.00 人)	(人) (32.00 人)		
	正規職員人件費	36.00 人	313,956	29.00 人	251,140
	事業費合計		322,516	259,313	
財源内訳	一般財源	322,516	259,313	8,533	
	国・県支出金				
	その他()				

※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	学校給食センター稼働日	年間給食実施日数	日	201	198	199	
		給食対象校		校	17	14	14	
		給食数	給食延べ人数	食	1,613,126	1,422,783	1,435,112	

⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	残食率	残食量/配食量	%	目標値	10	9	9
					実績	9	10	<input type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」縮小図
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	111	90	↑どちらかをチェックしてください	

⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	食育授業・給食時間の学校訪問・保護者への試食会等の開催などの取り組みを行った。	児童生徒への食育、並びに保護者への食の重要性の啓発を行ったが、給食時間の学校訪問回数については、昨年より下回った。児童生徒に給食を身近なものに捉えてもらい、食べる意欲の向上を図る必要性を感じる。

⑧評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	学校給食の食数・給食実施回数に変更がないため、改善を図りつつ現状維持で行いたい。	
	方今後の	次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	施設の老朽化に対応するため、修繕費などの予算を増やす必要があるため。	
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性			
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	保健給食課長 川上 一人			
評価	学校給食センターの広報活動を積極的に行うことを目的として、給食センターの施設や仕事を紹介する動画を作成し、インターネットで配信する新たな取組を行った。		施設の老朽化対策と衛生管理を徹底し、安全・安心な給食の提供を行っている。			

⑨環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	給食調理、提供業務により発生する様々な環境影響	規制を受ける環境法令等	有
				緊急事態	有